

# 第4回 城崎・港地域 デザイン懇談会を開催しました

「第4回城崎・港地域デザイン懇談会」を、10月12日（火）城崎庁舎大会議室で開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第3回目において、参加者の皆さまに「工夫して面積を削減できないか」、「機能・役割を移転、統合できないか」等について議論していただきましたので、その結果について報告を行いました。

次に、各グループに分かれ、議論に挙げた施設について図面を用いながらさらに検討を深めていただきました。それぞれの施設のどの場所にどのような機能が配置されれば、利用価値や存在価値が上がるか、機能集約案、削減案についても議論していただき、最後に各グループワークの結果を発表し、全体で共有しました。

## 懇談会の様子



## 第5回地域デザイン懇談会の開催について

### 【第5回開催日時】

日時：2021年11月15日（月）午後7時から

場所：港地区コミュニティセンター

### 【傍聴について】

傍聴をご希望される方は、城崎振興局地域振興課へお申し込みください。

- (1) 対象者：城崎・港地域に在住、もしくは在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 21-9065 Eメール：kinosaki-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年11月12日（金）

# 参加者の皆さまによる検討案の一部を紹介します

## 1班

- 麦わら細工伝承館 → 城崎文芸館に統合
- エコハウス = 民間へ譲渡し上手く活用 環境に配慮した建築なので快適
- さとの湯 = 民間へ譲渡
- 港西小学校 = 城崎アートセンター利用者の宿泊施設にする

## 2班

- エコハウスは廃止でも良いのでは
- 木屋町小路・ハチゴロウの戸島湿地 = 民間に任せる
- 麦わら細工伝承館・健康福祉センター機能 → 城崎文芸館へ移転

## 3班

- 木屋町小路 = 民間へ譲渡
- 市営住宅 = 集約し、新住宅を（新道路を契機に）
- 中学校の統合もしくは小中一貫校

## 4班

- 城崎文芸館・図書館・麦わら細工伝承館 → 3つの機能を集約
- 健康福祉センター → 振興局の2階へ ⇨ 福祉と行政一緒に
- エコハウス・木屋町小路 = 民間に任せる

## 5班

- 観光関連施設は民間に委託すれば良い
- 集約すると過疎地が増える → コミュニティは集約しない方が良い
- 城崎文芸館・麦わら細工伝承館 = 統合

### ◇ご意見・ご感想◇

- ・他の班の方の意見が自分にはない考え方で興味深かった。自分の住んでいる町について話し合えてよかった。今までの説明がだんだん繋がり、理解できた。
- ・どの班も学校の話が出ていたが、将来どんどん少子化が進み、住みにくい地域とならない様に、各地域で魅力ある活動等、我々ができることを今やっていないといけないと思う。
- ・出来る、出来ないは別として、話し合えばいろいろな発想があり、なるほどと思った。
- ・民間のノウハウを活かせる公共施設はどんどん任せて行ってほしい。
- ・集約しすぎると「過疎」になりえる。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

### 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129  
城崎振興局 地域振興課 電話 21-9065